

道徳のまちさって あいさつのまちさって



令和 6 年度 幸手市道徳のまちづくりコンサート

令和 7 年 1 月 18 日 (土) 幸手市北公民館

趣旨と今年度の取組

幸手市教育委員会では、人々が温かな気持ちを持ち、豊かに生きようとする「道徳のまち さって」として幸手市の幼・小・中学校の道徳教育を一層充実させるとともに、市民の道徳性を醸成することを目的として、平成 29 年度より幸手市道徳教育推進協議会議を設立し、市民と協働して取り組んでおります。

そこで、幸手市内の小中学生や保護者等を対象としたコンサートを通して、より豊かな道徳心や感性の醸成を目指すとともに、生涯にわたって住みたいまちづくりについて考えるきっかけをつくることのために本コンサートを実施しました。

今年度は、第 1 部に児童・生徒による発表及び幸手市 SDGs 道徳プロジェクト入賞者表彰式、第 2 部に「歌う道徳講師」大野靖之氏をお招きし、音楽講演会を実施しました。当日は、幸手市内の小・中学生、埼玉県立幸手桜高等学校の生徒、保護者、市民の方など約 300 名ほどの方々に御参加いただき、よりよい生き方や住みやすい街をともに作っていくために大切なことについて考える機会となりました。

第 1 部 児童・生徒による発表 幸手市 SDGs道徳プロジェクト入賞者表彰式

○幸手市児童生徒 PBL&プレゼンテーション講座の発表

本講座は、次のことを目的として、市内小・中学生の希望者を対象に 7 月 7 日から計 10 回実施しました。

- ・児童生徒が、「わたしの 気づき、疑問、願い」をテーマとした探究学習 (PBL) を行う。
- ・そこで学んだことについて、相手意識や目的意識をもった「分かりやすい」「効果的な」プレゼンテーションを作成し、発表する経験を通して、情報活用能力や非認知能力の向上を図る。
- ・ICT を利活用し、自分の考えや思いを、原稿に頼ることなく相手に伝えることができるプレゼンテーション能力の育成を図る。

今回は、受講者を代表して 2 名の児童生徒による発表を行いました。一人一人の心がけでみんなが気持ちよく過ごせる街にしていくことができること、相手の立場に立って言葉の使い方を考えていくことの大切さなどについて改めて考えさせられる発表でした。

○令和 6 年度幸手市 SDGs道徳プロジェクト入賞者表彰式

道徳ロゴマークの部、ありがとう作文の部、あいさつキャッチフレーズの部、それぞれの部門の入賞者、80 名の皆様を紹介しました。

○幸手市 SDGs道徳プロジェクト「ありがとう作文」の発表

令和6年度「ありがとう作文」最優秀賞の方から代表で2名の児童生徒による発表を行いました。

今回の2人の発表を通して、身近にいる人に支えられて生活をしていることに気づいたりや感謝の気持ちを伝えることの大切さを考えたりする機会となりました。

第2部「大野 靖之 音楽講演会 ～君が君を愛するために～」

今年度は「歌う道徳講師」として全国の学校をまわり、御自身の経験等に基づき、作詞作曲活動をされている大野靖之氏をお招きして講演会を行いました。聞く人の胸を熱くさせる歌声と歌詞、力強くも優しい弾き語り、聴衆の心をひきつけるトークに、笑いあり涙ありの音楽講演会となりました。

大野様の歌声は、心に深く響き、自分らしく生きていくために大切なものについて考えたり、前を向いて生きていくための活力を与えてくれたりしました。また、自分自身は一人ではなく、たくさんの人に支えられ生きていること、そういう周囲の方々に改めて感謝の気持ちを感じる時間にもなりました。

